



特集 冬に住む



冬の五郎さん体験ツアー①



占冠村 ニニウ神社の奉納相撲②



ウィンターピアカーデン in なかふらの③



テラスでスケート in なかふらの④

北海道の冬の寒さ、雪の中の生活は、経験がない人たちにとっては大変に見えるかもしれませんが、それなりの備えや工夫がなされています。そんなこの地域の冬の生活の実態をはじめ、楽しい冬の過ごし方など、移住された方々の話も参考に紹介します。

(取材 大場恭秀・太田文・小場なつき)

雪に強く

北海道の住宅の特徴としてよくいわれるのは、瓦屋根はなくトタンの三角屋根に二重窓、**玄関フード★1**の設置などです。玄関フードというのは、玄関の前にもう一つ、冷氣や雪が入らないように設置されたものです。一般的に道内の冬場の室温は 20℃以上で、特に最近の住宅は気密性が高く、融雪設備を有する建物なども多く寒冷地に強い住宅建築へと変わりつつあります。かつては、ストーブのある居間は熱帯、隣の部屋は北極で冷蔵庫の中の方が温度が高いなどと笑い話のような話もありました。



★1

室内はとっても温か

現在の暖房設備は、煙突式か壁に穴をあけ吸排気するFF式の石油ストーブが

主流です。排気は、屋外に出るので灯油の臭いはしません。また、屋外に**灯油タンク★2**を設置している家庭が多く、本州の人には珍しい光景に見えるかもしれません。最近



★2

は、環境とかエコの問題で、ペレットストーブの普及が進められています。燃料の木質ペレットは間伐材の利用促進と非化石燃料であることから地球温暖化防止にも貢献するとか。北海道内では、富良野市をはじめペレットストーブ購入の際に独自の助成制度を設けている市町村もあります。また、オール電化の住宅の蓄熱暖房など、多種多様な暖房設備が用いられていますが、概して北海道の冬場の室内は温かいです。外は雪、赤く燃えるストーブのそばでアイスクリームを食べるなどというちょっと楽しげな光景もあるのです。

雪道を歩きます

初めて雪の北海道を訪れた人の話では、圧雪された道路に足を取られそうで怖くて雪道がうまく歩けないそうです。上手に歩くには、まず冬靴です。靴底が違うのです。スタッドレスタイヤのように滑りづらい靴が冬靴です。他にも、収納可能な金具がついたスパイク付の靴もありますが、うっかり床を傷つけたりしますの

【写真提供】ふらの・びえい人になるキャンペーン事務局①③④ 山本敬介さん②

記者レポート 北へ南へふらびズム

JR石勝線占冠駅
徒歩0分
第9駅



▲占冠駅前駐車場と物産館 ▶雪の赤岩青巖峡

占冠駅から徒歩0分:占冠駅前で行みます。占冠駅前は、広い駐車場と物産館の建物のほかには何もありません。占冠村は不思議な村です。東京23区とほぼ同じ広大な面積に、人口は1200人ほどです。ところが、村内に高速道路のICが2か所、特急の停車駅が2駅(占冠駅・マム駅)あるのです。日本中の村を調べても、こんな便利な村はないでしょう。都会への交通のアクセスは抜群です。



JR占冠駅 全9駅を紹介したシリーズも最終回

かつて(1952年)この村に赤岩ダム建設計画がもちあがったといいます。占冠村の大部分が水没するという大規模なダム計画です。廃村の危機に、先人たちの辛苦の開墾で得た自分たちの土地を守るために反対運動が起きました。国が進めた開発計画に対して600戸一村の反対で、ダム建設が中止になったのはスゴイことです。さて、占冠駅が終着駅です。駅から眺める風景に、その街の在り様がみえるかもしれないと始まったレポートですが消化不良かもと思いながら、占冠村の中心街に向かって歩きます。(恭)

ママの
休け
時間

ー 10 時間目 ー

十勝岳連峰の南側に位置するふらびズムエリアには親子で利用できる施設が数多くあります。その一つが美瑛町白金温泉地区の「国立大雪青少年交流の家」です。豊かな自然環境での野外活動をはじめ、スポーツやレクリエーション、学習、芸術文化活動など参加者が計画を立て利用する「研修施設」です。初めて出会う利用者が一つ屋根の下同じ釜の飯を食べ、1日2回設けられ



④



①泊2日の合宿が始まります ②みんなで囲む「同じ釜の飯」 ③朝夕のつどいは交流の場です ④シーツはキレイにたたみます

ている「つどい」の時間で交流します。400名の宿泊が可能ですが、2名以上のグループであれば年齢性別を問わず利用できます。廊下やレストランですれ違う利用者と挨拶を交わし「来た時よりも美しく」という精神を学び、責任感や社会性を培います。日常の喧騒から離れ、それぞれの目的に集中して取り組むことのできる環境です。さて当コーナーは今回で最後となりますが、多忙なママと子どもたちの「休けい時間」がより一層豊かなものとなることを願いつつ、これからもこの地に暮らしていきたいと思ひます。(文)

国立大雪青少年交流の家
☎0166-94-3121 美瑛町白金温泉